

## 小短信

### 日本の現在 ～ 熊出没 ～

去年2010年10月, 在山形县以及福井县相继发生了人遭到出没于村庄的熊的攻击而身受重伤的灾害。随后, 在山形县以及京都府、新潟县等也发生了人遭到熊攻击的灾害, 随着冬天加深, 那样的灾害在全国各地频繁发生。

本来, 熊在山、森林里吃植物的果实生存, 但是好像由于2010年夏天是记录性的酷暑, 橡实等歉收, 寻找饵料而来到村庄的熊就相应增加。

但这几年, 熊出没于村庄的情况有增加的趋势, 据说各种各样的原因: 由于地球温暖化积雪量减少, 冬天变得容易渡过, 熊的个体数量增加了, 还有农村老年化的发展, 修剪山以及森林树木的人员减少而荒废了。

以前, 有进山时不要遭遇到熊的方法, 就是把铃系在身上, 发出声音告知熊有人在, 据说实际上很效果。今年冬天在全国各地铃、笛子等避开熊的商品很畅销, 甚至有生产赶不上的程度。

### 传达心意的日语 ～ 回答的日语 ～

当被叫到名字的时候, 回答“是”, 这很重要。在社会生活方面, 沟通意思是不可缺少的, 该第一步就是从回答“是”开始。

也有回答“嗯”, 尽管在年幼的孩子、朋友之间被允许, 但是作为社会一员的诸位技能实习生, 仍然要回答“是”。在接受上司指示时, 不是回答“嗯”, 而应回答“是”, 这是基本。

在日本, 开始义务教育的小学一年级就进行了扎实地教育: 当被叫到名字的时候, 就要回答“是”, 但是近来不知为什么, 看到有很多年轻人不作回答。

应把回答“是”记在心里, 还有, 由于常说只要凭说一句“是”, 就能猜想到那个人的年龄、甚至心理状态, 所以建议大家要爽朗地回答。

## ミニ情報

### 日本のいま ～ クマ出没 ～

昨年2010年10月、人里に出没したクマに人が襲われ大けがをするという被害が山形県や福井県で相次いで発生しました。その後も山形県や京都府、新潟県などで人がクマに襲われる被害が起き、冬の深まりと共にその被害は全国各地で頻発しています。

本来クマは山や森の中で植物の実を食べて生息していますが、2010年の夏の記録的な猛暑でドングリなどが不作となり、餌を求めて人里に来るクマが増えたようです。

しかしここ数年、クマが人里に出没するケースは増加傾向にあり、それは温暖化で積雪量が減り冬を過ごし易くなったクマの個体数が増えたからとか、農村の高齢化が進み山や森の樹木を手入れする人が減り荒廃してきたからとか、色々な原因が言われています。

昔から、山に入る時にクマと遭遇しないように鈴を身に付ける方法がありますが、人がいることをクマに知らせるように音を出すことは実際に効果があるそうです。この冬は全国各地で鈴や笛などのクマよけグッズがよく売れ、生産が追いつかないほどとなっています。

### 心を伝える日本語 ～ 返事の日本語 ～

名前を呼ばれたら「はい」と返事をするのは大切です。社会生活を営むうえで意思疎通は欠かせないものですが、その第一歩は「はい」の返事からです。

「ウン」という返事もありますが、幼い子や友達同士では許されても、社会人である技能実習生の皆さんは、やはり「はい」と返事をします。上司から指示を受けたとき、「ウン」ではなく、「はい」が基本でしょう。

日本では、義務教育が開始される小学一年では、名前を呼ばれたら「はい」と返事をしましょうという教育が、しっかり行われますが、昨今なぜか、返事しない若者が多く見受けられます。

「はい」と返事することを心掛けること、さらに、「はい」の一言で、その人の年齢や心理状態まで想像できると言われるくらいですので、快活に返事することをお勧めします。